



紙おむつの乾燥に化石燃料を使わず、ごみ焼却場の余熱を利用する  
「使用済み紙おむつ燃料化実証施設」



太陽光発電住宅

1  
再生可能  
エネルギーの  
活用

### 太陽光発電が環境保全の意識を高めるきっかけに

自宅に太陽光発電を導入した山賀 洋平さん  
先に設備を導入した知人から話を伺い、導入を決めました。売電を含め電気代が削減できること、機器の故障リスクは少なく手入れの手間もかからないこと、また災害時でも安心な発電設備であることなど、数々のメリットがあり、導入して良かったと感じています。一方で導入時の初期費用負担が大きいくことを心配していましたが、市の支援制度を活用させていただいたおかげで、大変助かりました。



以前は電気使用量を気にすることはありませんでした。だが、設備導入後は電力モニターで使用電力をリアルタイムで知ることができるようになりました。そのため、「節電意識」が高まりました。私たちがこのような意識を高めることで、地球の環境を守り、大切な故郷を未来に残していくことにつながると考えています。



松之山温泉の蒸気や熱水を活用した地熱バイナリー発電所  
「コミュニティ発電 ザ・松之山温泉」

# 脱炭素社会のトッパーナーに

## 二酸化炭素排出量削減に取り組みます



Picture 市内の住宅に導入された薪ストーブ。市では住宅や事業所に再生可能エネルギー設備を導入する支援を行っています。

作为构筑低碳・良性循环型社会的举措，积极推进减少垃圾以及循环利用、发挥太阳能・水力・地热等自然能源以及森林资源等生物资源的作用，创造可再生能源。另外，在维护森林吸收二氧化碳等广阔的领域采取措施，力争于2050年实现“零碳城市”。

In order to proceed towards decarbonization and building a recycling-oriented society, a variety of methods are being promoted including encouraging recycling and reducing waste, harnessing natural forms of energy such as solar, hydro, and geothermal, as well as efforts to take advantage of renewable forms of energy like biomass from forest resources. We are aiming to be a Zero Carbon City by 2050 by proceeding with a wide range of initiatives such as the management of woodlands for carbon dioxide absorption.

脱炭素・循環型社会を構築する取組みとして、ごみの減量化および再資源化の推進と、太陽光・水力・地中熱などの自然エネルギーや、森林資源などのバイオマス資源を活用した再生可能エネルギーの創出を推進します。また、森林整備による二酸化炭素の吸収など、幅広い分野での取組みを進め、2050年の「ゼロカーボンシティ」実現を目指します。

## 2 「未来のために今できること」 ごみの減量化・再資源化 子どもたちも考え、行動する

市では県内自治体としては初めて、「使用済みハブラシ」回収プログラム（テラサイクルジャパン合同会社／ライオン株式会社協同実施）に参加しています。このプログラムにより回収された歯ブラシは植木鉢に再生され、私たちの暮らしに再循環されています。市立小・中・特別支援学校および保育園では、ごみの減量化やリサイクルの意識を子どもに定着させるため、校舎に回収箱を設置し、家庭にも協力を呼び掛けています。

また、地球温暖化防止の意識を持ってもらうため、県などが実施している「こどもエコチャレンジ」にも取り組むなど、環境

教育を推進しています。積極的にこの事業に参加する、市立川治小学校の児童に話を聞くと、「ごみを減らすことは、二酸化炭素の削減にもつながるなど、さまざまな面に好影響となることが理解できました」や、「普段の生活でも道に落ちているごみを拾うようになりました」など、着実に成果が現れています。



使用済み歯ブラシ回収の様子